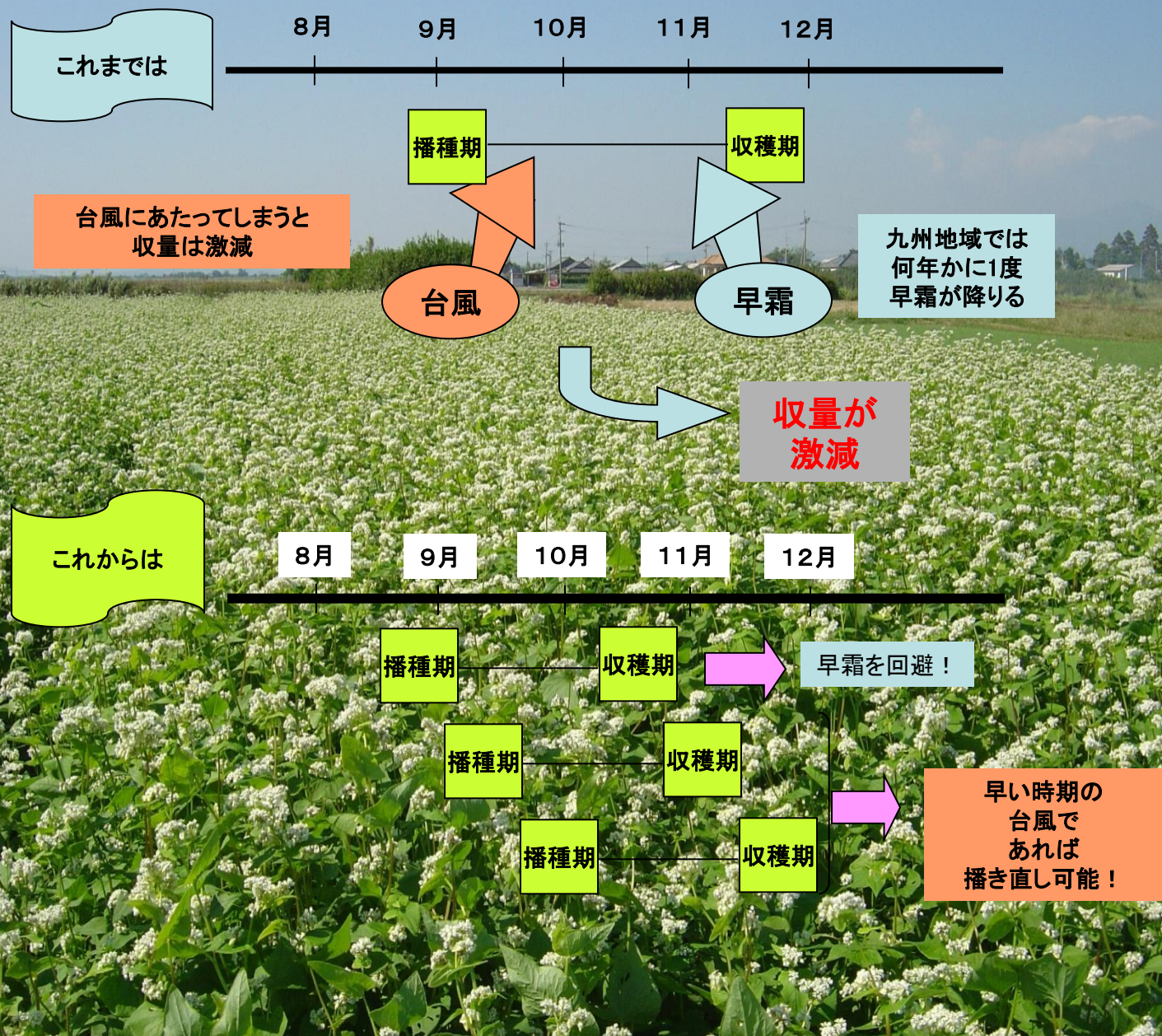


暖地向け秋ソバ新品種「さちいずみ」を用いた 播種適期拡大技術

背景と目的

- ・暖地におけるソバの夏まき栽培では台風シーズンにあたり、収量の変動が非常に大きいです。
- ・これまで一般的に栽培されてきた在来種では一度台風にあたってしまうと播き直しができませんでした。
- ・暖地の夏まき栽培用に開発された「さちいずみ」は多収で栽培期間が短いという特性を有しています。
- ・ソバの収量の安定化を図るため、この「さちいずみ」を用いて暖地秋ソバの播種期の拡大の現地実証試験を行います。



成果

「さちいずみ」の導入により、

- ・早めの播種により収穫期を前進させることができ、早霜の害の回避が可能になります。
- ・早い時期の台風被害であれば、播き直しが可能になり、収穫を確保することができま

す。

現地での栽培データ 2012年度

地域	農家	播種日	播種量 (kg)	栽培面積 (a)	収量 (kg/10a)
鹿児島県 大崎町	A	9.14	5.0	15	231
	B	9.16	5.0	50	262
	C	9.25	4.5	34	101



左:さちいずみ 中央:常陸秋そば 右:鹿屋在来

地域	試験地	播種日	播種量 (kg/10a)	栽培面積 (a)	栽植密度 (本/m ²)	主茎長 (cm)	分枝数	主茎節数	千粒重 (g)	収量 (kg/10a)
大分県 豊後高田市	長岩屋	8.20	5	10	139	94.5	2.9	-	31.7	245.4
	美和	9.02	5	10	118	74.1	2.8	8.2	34.9	262.3
	都甲	9.10	5	10	140	70.8	1.4	6.7	22.3	85.7

「さちいずみ」の特性(育成地データ 2003年-2007年平均)

品種・系統名	開花始 (月日)	開花期 (月日)	開花最盛期 (月日)	成熟期 (月日)	耐倒伏性 ^{a)}
さちいずみ	9.16	9.18	9.26	10.21	5.3
鹿屋在来	9.17	9.20	10.10	11.05	3.3

a) 耐倒伏性 9:極強 5:中 1:極弱

品種・系統名	草丈 (cm)	主茎長 (cm)	1次分枝数 (本)	主茎節数 (節)	花房数 (個)	外観品質 ^{b)}
さちいずみ	90.8	86.3	3.0	9.8	19.7	8.5
鹿屋在来	112.9	109.2	3.3	12.6	53.2	6.9

b) 外観品質 9:極良 5:中 1:極不良

対象作物、普及対象

- ・ソバ、暖地

対象農家

- ・暖地において秋そば栽培をおこなっている農家

関連HP (品種情報)

<http://www.naro.affrc.go.jp/patent/breed/0100/0103/001373/>

その他

- ・播種期を早めすぎると倒伏による収量の低下や穂発芽などの問題が生じる。